

本年4月1日リニューアルオープンした武雄市民図書館、全国的に大きな関心が持たれています。その原因は？・・・

3か月で26万余の入館者があった、と報じられていますが、大半は市外県外の見学者。駐車場は満杯状態。一般武雄市民利用者はリニューアル後の図書館について多くは口を閉ざしています。なぜ？

- ？ 人が多く集まればいいの？
- ？ コーヒーの香りに満たされた図書館・おしゃれな図書館がホントに良い図書館？
- ？ 税金を使って設置された図書館。利益追求が目的の「私企業」に委ねていいの？
- ？ コンセルジェ（司書？）、販売もレファレンスもするの？専門知識を磨いていける？
- ？ Tポイント利用で個人情報を守れるの？
- ？ 市民サービス最前線の図書館。市民や議会への説明がないってホント？
- ？ 1年365日、9時から21時まで開館。“便利さの代わりに何を”明け渡したの？
- ？ 利用者にやさしくないね。4か所あったトイレ、1か所に。幼児は間に合うかな？
- ？ たまに訪れる“観光地”ならいいけど・・・毎日が“ハレ”状態では・・・
- ？ 図書館は未来からの預かりもの。公の機関なら絶対に失ってはいけない視点

☆ 得られるものと失うもの・・・ 私達も考えようよ！話し合おうよ！ ☆

7月7日 図書館友の会全国連絡会は武雄市図書館についての声明書を公表

武雄市図書館は、その手法や図書館について多くの問題（公立図書館の振興・発展ばかりでなく地方自治のあり方にとっても、大きな問題・課題あり）を抱えながら本年4月にカルチュア・コンビニエンス・クラブ社（以下「CCC」という。蔦屋書店、CD/DVD レンタルショップのTSUTAYAの運営会社で、スターバックスのライセンス提供を受けている）を指定管理者とする図書館としてリニューアルオープン。私たち図書館市民団体としてとても見過ごすことはできず、次の6点の問題を指摘、武雄市側からの回答を待っています。

1. 自治体の首長が、特定の民間会社を指定管理者に選定し、十分な情報公開をしない地方自治のあり方は問題
2. 「民主主義の砦」としての公立図書館の役割と公共性への配慮が欠如している問題。
3. 利用者の増加が図書館サービスに結びついていない問題。
4. Tポイントカードと図書館カードとの併用はCCCの営業支援となる問題。
5. 図書館サービスの専門機能の継続性が担保されない問題。
6. CCCの採用は、地域振興に結びつかない問題

詳しくは図書館友の会全国連絡会ホームページに掲載：<http://totomoren.net/>